

C3Hマウスを用いる発毛促進作用の評価

薬剤による発毛促進作用を、C3H マウスを用いて評価いたします。

C3H マウスの背部の毛周期サイクルの特徴「①各毛周期が同調している」「②休止期が比較的長期にわたる」を利用して、毛包周期を休止期から成長期に移行させる作用を評価します。

- 材料および方法 -

C3H 系マウス（雄性）

1. 毛包周期が休止期にあるマウスの背部を 0.5-1 mm 程度残して刈毛する。
2. 刈毛したマウスの背部皮膚（正中線より右側）に、1 日 1 回以上薬剤を塗布する。
3. 発毛指数の算出：投与域のうち、発毛がみられた面積を目視でスコア化する。
4. 毛包長の測定：皮膚の HE 染色標本を作製し、Image J を用いた画像解析により毛包下端からの毛包長を計測する。

45% EtOH

市販品含有成分X

Day 1



Day 39



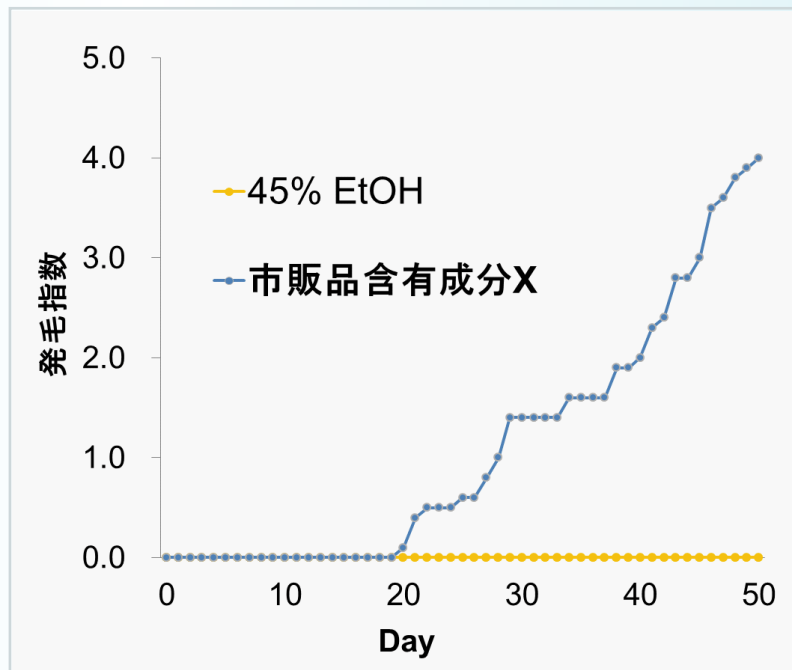
Day 46



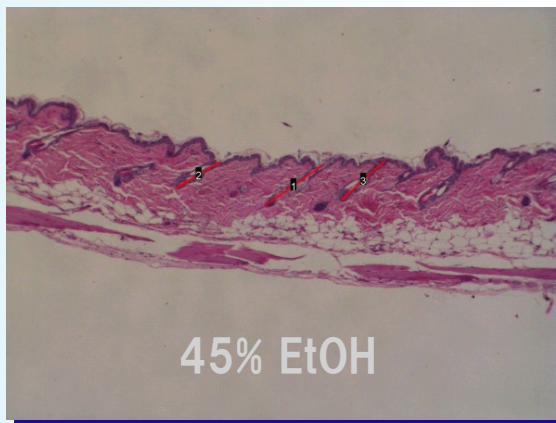
発毛指数の推移

スコア 0：発毛なし
スコア 1：20未満 発毛
スコア 2：20～40% 発毛
スコア 3：40～60% 発毛
スコア 4：60～80% 発毛
スコア 5：80%超 発毛

※画像解析により発毛面積を定量することも可能です。

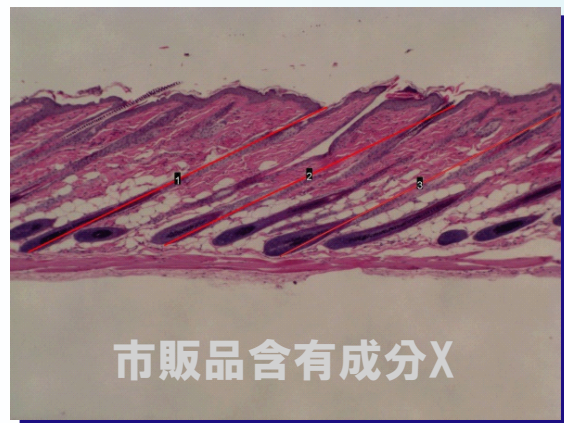


毛包長の測定



45% EtOH

毛包長 = 231.2 μm (平均)



市販品含有成分X

毛包長 = 1093.8 μm (平均)

■□■ 申請用試験 (信頼性基準) の実施も可能です ■□■